

エルサルバドル合気道創立 25 周年

空港に降り立ったのは 6:20am。WhatsApp を開くと「先生は 7:30am にラジオ取材の予定」と出てきた。

エルサルバドル合気道創立 25 周年記念セミナーが、2024 年 10 月 11 日から 13 日の 3 日間行われた。このセミナーに日本の本部道場から師範をお迎えするという「歴史的快挙」を一緒に祝いたくて、私は 5 年ぶりにエルサルバドルに戻ってきた。エルサルバドルの合気道の先生が空港まで迎えに来てくれると言っていたが、取材の予定があったとは聞いていない。「Taxi で行くから待たずに行って」と書き送ると「心配するな」と返ってきた。7 時過ぎにようやく車に乗ったが、到底間に合わない。車中でラジオから生放送が流れ始め、大使館の方の声が聞こえ、いきなり先生がスマホに向かって「motoko が来た」としゃべり始め、電話取材になってしまった。相変わらず（時にはみんなを振り回しつつも）本番は何かしてしまう底力に、改めて感嘆してしまう。



先生は経済的に不安定な状況にいらながらも、生徒が少なく稽古代が集まらないときは自分の貯金をつぎ込み、合気道を最優先に活動が続けてきた。コロナ禍では稽古も中止になり、継続に苦労していたようだ。日本に一度も行ったことが無く、近隣国の仲間同士で教えあい、ネットで動画を見ながら独学。袴を買うには国際宅急便を使っても 3 か月かかり、時には行方不明になってしまうようなところである。道場は雨漏りするし、現地の大工に注文した木剣はアニメに出てくるような剣になってし

まった。そんな中、合気道の技の稽古だけでなく、「武士道の7つの徳」について説いてみたり、袴のひだの意味についてまで語ってみたり、日本で合気道をしていた自分でさえ知らない話を、真剣に語っている。よくぞここまで25年間、エルサルバドルで日本の武道である合気道を続けてきてくれたこと、日本から遠く離れた国で日本をこれだけ好きに思ってくれることに、日本人として本当に心から感謝したくなる。

合気道用語は日本語そのままなので、子供たちも「Shikkou（膝行：膝で歩く動き）」「Tenkann（転換：合気道の基本的動作の一つ）」と言いながら稽古している。稽古の後に「Arigatou Gozaimashita」と挨拶した後、「意味は何？」と先生に質問されると元気な大きな声で「『さようなら』です！」と答えるところがまた可愛らしい。合気道以外でも、生徒たちは日本文化に興味を持ってくれて、コンニャクステーキを自分で作る人もいれば、私と初めて話をした子供には「日本人なの？本当の日本人なの？お母さーん！日本人だって！本物だって！」と目をうるうるさせながらじーっと見つめられたこともある。

今回師範を迎えての国際セミナーは、日本大使館の方々のご尽力で実現し、式典には日本大使にもご列席いただいた。北はカナダから南はチリやウルグアイ、と多くの国から参加者があった。国中に合気道の道場が1つしかないこのエルサルバドルに、このような出来事があるなんて、本当に歴史的快挙、と繰り返して言いたい。先のラジオ取材の出来事以外にも、デモンストレーションが始まる1時間前に子供たちの参加を決めて子供たちを大慌てさせたり、式典の直前に色々なモノをなくしては右往左往、と相変わらずだったが、子供クラスの保護者も総出で手伝い、目まぐるしいなかでも盛り上がりの中幕を閉じた。遠く日本まで稽古に行くことが叶わない中南米の合気道家にとって、本当に貴重な機会になったと思う。





6年前、自分は友人が誰もいないエルサルバドルへ来て、合気道の道場に仲間として受け入れてもらい、毎日のように道場で一緒に稽古をしていた。私が仲間の輪に入りやすいように、時折「これは日本語でなんて言うのか？」と話を振ってくれたり、休憩時間に「昔の内戦の頃は、車に白旗を掲げて学校に通っていたんだよ」と聞かせてくれたり、雨期の雨宿りをしながらスペイン語版のしりとりを教えてもらったりした。週末も市内の公園やショッピングモールで一緒にデモンストレーションをし、国際合気道セミナーがあったときはメキシコまで飛行機で一緒に行って参加したりもした。その頃、エルサルバドル合気道創立 20 周年を祝ったが、今回またエルサルバドルに来て、みんなと一緒に 25 周年を祝うことが出来ていることに改めて感動しながら、今、帰路の空港でこの体験記を書いている。次にまた遠くエルサルバドルまで来れるのは 30 周年記念のときだろうか。その時、先生が元気でいてくれることを、今の生徒たちもまだ稽古を続けていてくれることを、願う気持ちでいる。



和田素子（わだ もとこ）氏

JICA 青年海外協力隊、JICA ジュニア専門員、配偶者同行で中米に 5 年間滞在。現在は日本国内の自治体職員。